



違いを受け入れ全員が全力で楽しむことができるルールと教具の工夫  
 高校学校第1学年 E 球技 イ ネット型「バレーボール」

1 単元の目標

- 役割に応じたボール操作や安定したボールの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 【知識及び技能】
- 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

2 共生を基盤とした授業づくりにおける工夫

(1) 技能の程度に応じてすべての生徒が安心して運動に取り組むための教具の工夫

生徒のボールへの恐怖心をやわらげたり、ボール操作が行いやすくなったりするように、ボールを選択できるようにした【資料1】。始めは硬いボールばかり使う生徒が多く見られたが、柔らかいボールを使った生徒が「痛くないし、思い切りできる」とペアに伝えると、次第に柔らかいボールを使う生徒が多くなった。さらに、ボールを選択している場面では、ペアに「どっちがいい?」「これでもいい?」などと確認をしている姿が見られた。また、サーブやレシーブの練習の際、硬いボールでは怖がりながらしていた生徒が、柔らかいボールで行うと、怖がらずにサーブやレシーブができるようになり、楽しんでいる姿が見られた【資料2】。



【資料1 選択できるボール】



【資料2 柔らかいボールでサーブの練習をしている様子】

(2) 技能差に関わらず、すべての生徒が楽しむためのルールの工夫

ルールの工夫に際して、段階的に発展させていくようにした。まずは、教師が提示したルール（「少人数」「キャッチあり」「コートを広さを変える」）でゲームを行った後、生徒自身でルールを考える活動を取り入れた。

「少人数」「キャッチあり」のルールでは、役割分担をし、キャッチができる生徒を限定した。生徒は、「キャッチする人を誰にするか」や「限定された生徒をどのようにポジショニングするか」など、チームで話し合った内容をゲームで発揮している姿が多く見られた。また、少人数のため、ボールに触れる機会が増えることで、得点できる回数が増え、ハイタッチやガッツポーズをする姿も多々みられるようになった【資料3】。

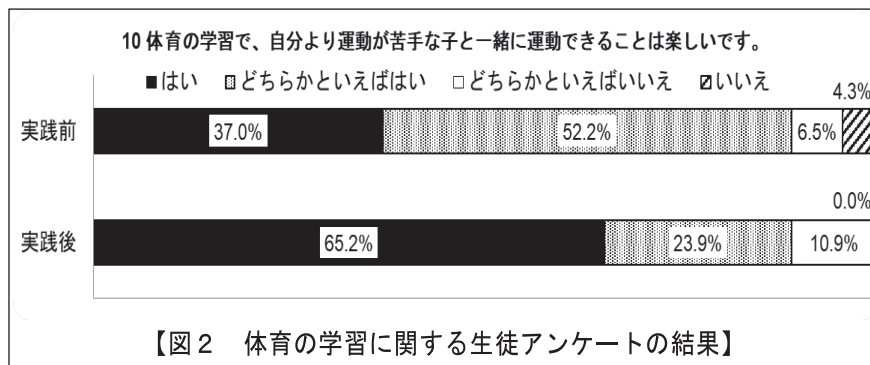
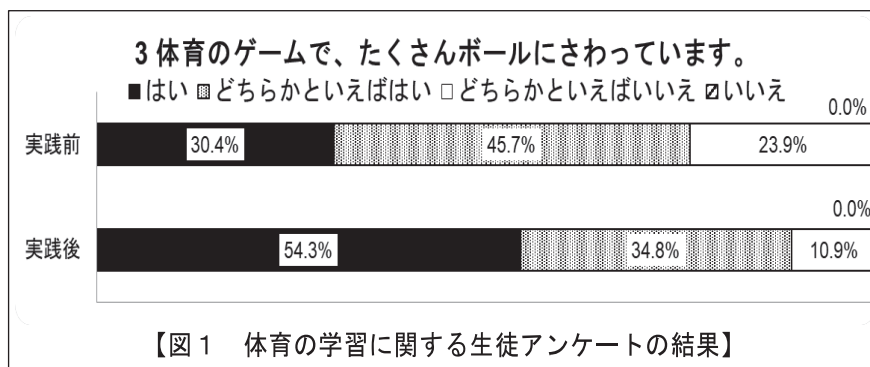
生徒自身でルールを考える活動の際は、「全員が全力を出して試合を楽しむことができるようにする」という条件を提示した。それぞれのチームで多くの意見が出され、実際にゲームをしながらルールを改善し、オリジナルのルールを提案することができた。生徒が考えたルールには、「コートラインは隣のコートとの境のみ」「何回バウンドしてもよい」などがあり、ゲームの様相としては、何度もラリーが続くような接戦が多くなり、全員が全力で楽しんでいる姿が見られた。



### 3 成果と課題

#### (1) 成果

- 単元前後に行った「体育の学習に関する生徒アンケート」において、「体育のゲームで、たくさんボールにさわっています」の項目では、「はい」「どちらかといえばはい」と回答している生徒が増加している【図1】。これは、ボールを選択することで硬いボールへの恐怖心が薄れ、積極的にサーブやレシーブなどの練習が行えた結果だと考える。
- 「体育の学習で、自分より運動が苦手な子と一緒に運動できることは楽しいです」の項目では、「はい」「どちらかといえばはい」と回答している生徒が増加している【図2】。これは、教師が提示したルールや生徒自身が考えたルールでゲームを行うことで、技能差を少なくし、すべての生徒が全力を出せるような学習が展開できた結果だと考える。

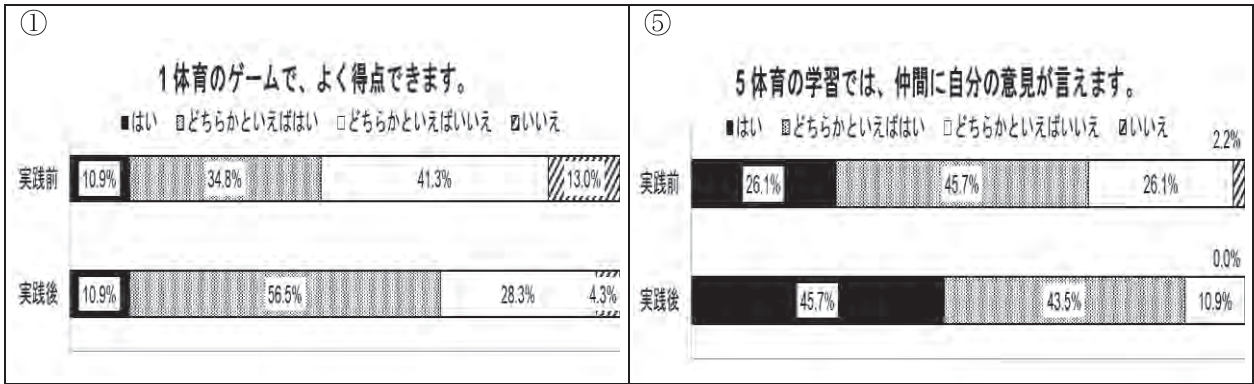


#### (2) 課題

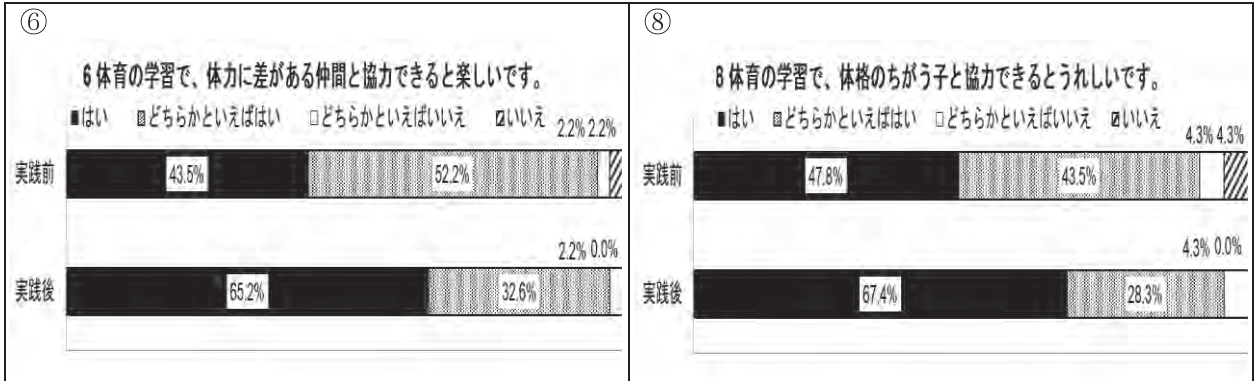
- 技能を着実に身に付けることができるように、教材や対話活動などの手立てをさらに工夫していく必要があると考える。

【児童生徒の変容】

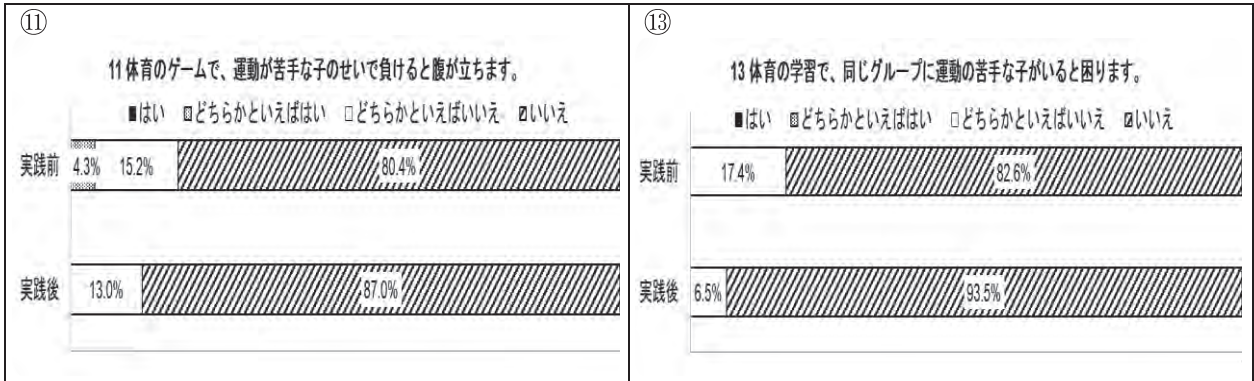
〔Ⅰ リーダーシップ〕



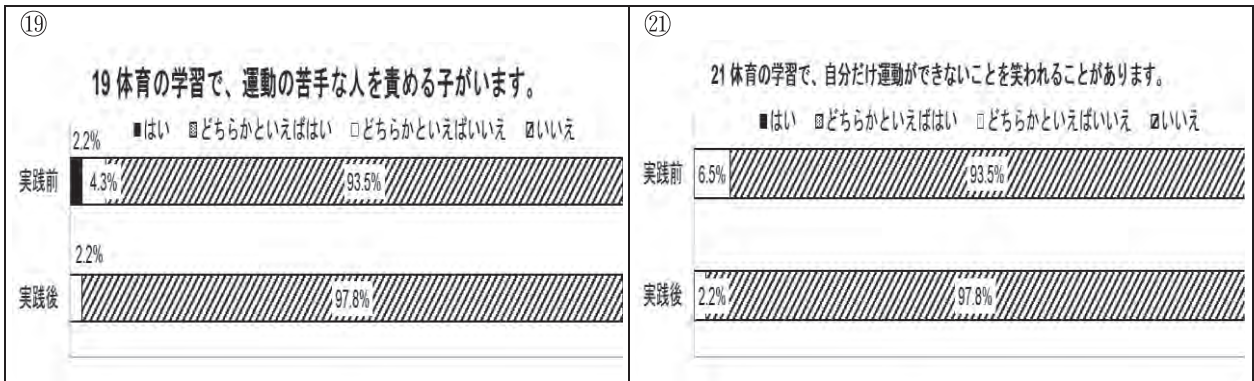
〔Ⅱ ちがいの受容〕



〔Ⅳ 失敗への排斥〕



〔排除雰囲気〕



【授業実践協力者の声】

生徒がルール工夫を考える活動を仕組んだことで、他の単元の授業でも、生徒が自ら話し合っ  
てグループ練習を考えたり、生徒同士でコミュニケーションをとったりする姿が多く見られ  
るようになりました。

